

マネキグサ

Lamium ambiguum (Makino) Ohwi

シソ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

日本海側にはほとんど分布せず、県内でも1カ所のみでの自生で、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

茎は直立し、4角で高さ40~70cm、葉には荒くて大きな鋸歯があり、基部は切形で1~3cmの葉柄がある。花は葉腋に1~3個ずつつき、暗紅紫色で長さ18~20mm、白い縁取りがある。

国内分布

本州(神奈川県以西)~九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

多年草、花期は8~9月。

生育環境

山地の樹下。

危険要因

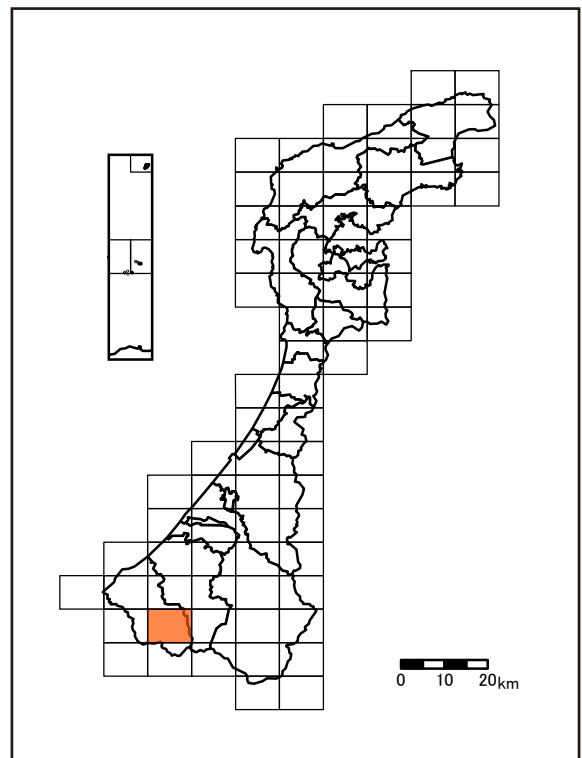
道路工事、ダム建設、自然遷移、産地局限。

特記事項

元の自生地はダム湖に沈み、現在は近くの場合へ移植したものが根付いている。



本多郁夫・加賀市



県内の分布